

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：国際戦略機構

事業担当者の職・氏名：講師：正路真一

内線電話番号：9203

電子メール：shoji.shinichi@dhier.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

ニュージーランド・ワイカト大学語学研修

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

#### 4. 事業の取組結果

##### (1) 事業概要（簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください）

本事業は、本学の派遣学生の①英語能力の向上と、②異文化体験を通じた考えや感性の深まりの二つを目的として、夏期と春期の2回、実施したものである。また、夏期、春期それぞれにおいて、3週間研修コースと5週間研修コースの2種類を提供した。派遣学生は、研修期間中、派遣先機関のニュージーランド国立ワイカト大学で週に5日の集中英語講座を受講し、また滞在方法としては現地市民の家庭にホームステイをした。帰国後には、事後研修として報告会を実施し、また各学生が報告レポートを提出した。

##### (2) 事業の背景・これまでの実績

本事業は2022年度夏期に、コロナ禍以降では本学で初めて実施された海外研修であり、本年度で4年目を迎えるものである。その間、2023年度には三重大学とワイカト大学の間で覚書が交わされた。また、当初3週間の研修として実施されていた本事業は、多様な学生の需要に応えるため、2024年度から夏期、春期ともに5週間研修コースを開設し、参加学生は3週間研修コースと5週間研修コースの二種類から選べることになった。今年度、夏期は5週間コースへの参加者が1名、また春期は3週間コースへの参加者が3名、5週間コースへの参加者が4名であった。また、JASSOの助成金を獲得しており、学生への経済的補助も充実している。

##### (3) 事業実施結果

本研修は、2024年度夏期においては8月11日から9月12日（5週間コース）に実施された。また、春期においては、2月23日から3月13日（3週間コース）または2月23日から3月27日（5週間コース）に実施された。その間参加学生は、月曜日から金曜日までワイカト大学で英語の語学クラスを受講した（月曜日から木曜日までは午前・午後のクラス、金曜日は午前のみ）。



##### (4) 事業の意義

参加学生がニュージーランドで生活し、授業での学習やホストファミリーとの交流を通して、言語能力を向上させることはもちろん、異文化を体験することで、これに対する理解や許容力が高まると考えられる。

##### (5) 事業の発展性

本研修は、一年に2回（夏期と春期）に実施され、またそれぞれ3週間コースと5週間コースが提供されていることから、国際戦略機構主催の海外研修としては、本学学生が参加できる機会が最も多い研修となっている。また、コロナ禍以降初の実施であった2022年度夏期の参加者が例外的に多かった（21名）以外は、常に4名から8名程度の参加者数を維持しており、国際戦略機構主催の短期海外研修としては安定期に入ったと言える。ただし今年度においては夏期の研修参加者が1名と少なく、これは日程の設定に問題があったためと考えられ、今後の課題としたい。その他、2024年度より本学の助成金およびJASSOの助成金を獲得するなど、学生への経済的支援も充実してきており、今後一層の参加者の増加が見込まれる。

#### （6）中期目標・中期計画における位置づけ

アクションプラン2030（1）海外大学の科目履修の推進・海外短期研修支援事業の推進  
第4期中期目標（9）-1 学生の海外留学及び留学生の受入れに関する取組を推進し、各部署等と連携しながら留学生を含む学生の生活及び修学支援を拡充させる。留学生寄宿舍の整備、及び留学に関する相談体制を充実させる。

#### （7）その他

特になし

## 令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

三重大学国際戦略機構主催のニュージーランド国立ワイカト大学での語学研修は、2025年度に4年目を迎えました。本研修は、毎年夏休み（8月～9月）と春休み（2月～3月）の二回実施され、またそれぞれ3週間研修コースと5週間研修コースのどちらかを選べます。今年度は、夏期は8月11日から9月12日（5週間コース）に実施され、また春期は、2月23日から3月13日（3週間コース）と2月23日から3月27日（5週間コース）に実施されました。

研修先機関は、ニュージーランドに8つしかない国立大学の一つ、ワイカト大学で、世界的に見ても優秀な学生たちが集まっています。また日本の夏休みや春休みには、三重大学のみならず、日本の数多くの大学の学生が短期研修としてワイカト大学に英語を勉強しに来ます。ワイカト大学で英語の研修に参加する日本やその他の国の学生たちは、月曜日から金曜日まで英語の授業を受けます。（月曜日から木曜日までは午前と午後、金曜日は午前中のみの授業）。また、授業では、学生どうしのペアワークやグループワーク、さらに教室の外に出て現地学生にインタビューをするといった活動を含む学生参加型授業が展開され、これによって実践的な英語能力が育まれます。また、本学の学生は、研修期間中、現地市民の家にホームステイの形で滞在し、ホストファミリーとの交流も楽しみました。

本学から派遣されたたくさんの学生は、授業での学習の他、他の大学の学生たちや現地のホストファミリーと積極的に交流し、英語を使った異文化交流を多く体験しました。



## 令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

This study-abroad program for English language training at the University of Waikato, a national university in New Zealand, organized by the Organization for International Education and Research (OIER) at Mie University, marked its fourth year in the 2025 academic year. This program is held twice a year, during summer break (August–September) and spring break (February–March), with students able to choose between a 3-week or 5-week course for each session. For this academic year, the summer session took place from August 11 to September 12 (5-week course), while the spring session was held from February 23 to March 13 (3-week course) and from February 23 to March 27 (5-week course).

The host institution, the University of Waikato, is one of only eight national universities in New Zealand and attracts world-class, talented students. During the Japanese summer and spring breaks, many students from various Japanese universities, not just Mie University, visit the University of Waikato for short-term English language training. Participants from Japan and other countries attend English classes from Monday to Friday (full days from Monday to Thursday, and mornings only on Fridays). The classes are designed to be student-centered, incorporating activities such as pair work, group work, and out-of-class interviews with local students to foster practical English communication skills. Additionally, during the program, Mie University students stayed with local families in homestays, enjoying meaningful interactions with their host families.

Many students dispatched from our university actively engaged not only in their studies but also in cross-cultural exchange through English by interacting with students from other universities and their local host families.